

# 選択問題紙

経済学部 1・2 部

経営学部 1・2 部（経営学科）

2024 年 2 月 10 日

10:00 ~ 11:00 (60分)

## 注 意 事 項

— 注意事項は裏表紙にもある。問題紙を裏返して必ず読むこと。 —

1. 解答用紙は問題紙の中に折り込まれている。

受験する学部（1・2部の区別を含む）に該当する問題のページと解答用紙の色を下表で確認すること。

選択問題	ページ	解答用紙
日本史 B	2 ~ 9	水色
世界史 B	10 ~ 15	緑色
地理 B	16 ~ 26	紫色
政治・経済	28 ~ 36	桃色
数学（経済学部 1 部・経営学部 1 部）	38 ~ 42	黄色
数学（経済学部 2 部・経営学部 2 部）	38 ~ 40	灰色

2. 解答用紙は 1 枚だけ提出すること。2 枚以上提出した場合にはすべて無効となる。
3. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
4. 試験開始の合図があるまで問題紙を開いてはいけない。  
試験終了まで退室してはいけない。
5. 受験番号の記入については裏表紙を参照すること。

— 以下は数学を選択する受験者のみに関する注意である。 —

6. 数学の解答用紙は表裏両面である。数学の解答用紙には答えだけでなく、導出の過程も記入すること。

1 部受験者は問題 **1**，**2** が必須で，問題 **3**，**4**，**5** については，これらの中から 1 問を選択し，解答用紙の  の中に選択した問題の番号を記入すること。

2 部受験者は問題 **1**，**2**，**3** の全問が必須である。

## 数学

**1** (経済学部1部・経営学部1部 必須)  
(経済学部2部・経営学部2部 必須)

次の各問いに答えよ。

- (1)  $x^2 - 6x - 9y^2 + 9$  を因数分解せよ。
- (2) 5個の値からなるデータ 14, 22, 18, 36,  $5n$  の標準偏差が8のとき, このデータの平均値を求めよ。ただし,  $n$  は定数とする。
- (3) 座標平面上の放物線  $y = x^2 - 2ax - 4$  を  $C$  とする。  $C$  を原点に関して対称移動して得られる放物線が  $C$  の頂点を通るとき, 定数  $a$  の値を求めよ。

2

(経済学部1部・経営学部1部 必須)  
(経済学部2部・経営学部2部 必須)

次の各問いに答えよ。

- (1) 三角形 ABC の3つの内角  $\angle A$ ,  $\angle B$ ,  $\angle C$  の大きさを, それぞれ  $A$ ,  $B$ ,  $C$  とする。

$\tan \frac{A}{2} = \frac{1}{2 + \sqrt{3}}$  のとき,  $\tan \frac{B + C}{2}$  の値を求めよ。

- (2) 次の10進法で表された数の計算の結果を, 2進法で表せ。また, 8進法で表せ。

$$2^{11} - (2^4 + 2^3)$$

- (3) 所持金 8500 円で1個 400 円のミニカーと1個 900 円のぬいぐるみをそれぞれ1個以上買う。  
消費税は考えないものとして所持金をちょうど使い切るとき, 買うことのできるミニカーとぬいぐるみの個数の組合せは何通りあるか求めよ。また, その個数の組合せを求めよ。

## 数

3

(経済学部1部・経営学部1部 選択)  
(経済学部2部・経営学部2部 必須)

1個のさいころを3回投げて出た目を順に $n_1, n_2, n_3$ とし、それらの積 $n_1n_2n_3$ を $n$ とする。  
このとき、次の問いに答えよ。

- (1)  $n$ の正の約数の個数が3個以上となる確率を求めよ。
- (2)  $n$ の正の約数の個数が7個となる確率を求めよ。
- (3)  $n$ の正の約数の個数が9個となる確率を求めよ。

※経済学部2部・経営学部2部の受験者は、このページの問題を解答してはいけません。

**4** (経済学部1部・経営学部1部 選択)

関数  $f(t) = \int_0^1 x|x-t|dx$  について、次の問いに答えよ。ただし、 $t$  は実数とする。

(1)  $t < 0$  のとき、定積分  $\int_0^1 x|x-t|dx$  を求めよ。

(2)  $f(t)$  の最小値、およびそのときの  $t$  の値を求めよ。

(3) 定積分  $\int_{-1}^2 f(t) dt$  を求めよ。

**数**

※経済学部2部・経営学部2部の受験者は、このページの問題を解答してはいけません。

**5** (経済学部1部・経営学部1部 選択)

次の条件によって定められる数列  $\{a_n\}$  がある。

$$a_1 = a, \quad a_{n+1} = b \sum_{k=1}^n a_k \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

このとき、次の問いに答えよ。ただし、 $a, b$  は正の実数とする。

(1)  $a_4 - a_3$  と  $\frac{a_4}{a_3}$  を求めよ。

(2)  $n \geq 2$  のとき、 $a_n$  を求めよ。

(3)  $\sum_{k=1}^n a_k$  を求めよ。

(このページは白紙です)

《注 意》

採点・集計などのさいに受験番号の読み間違いが生じないように、受験番号はつぎの点に注意して記入すること。

1. 受験番号は2箇所記入する。
2. HBの鉛筆・シャープペンシルを使って、1マス1字ずつはっきり書く。
3. ほかの数字とまぎらわしくないように書く。

良い例	1	3	4	5	6	7
悪い例	1(7)	3(8)	4(6) 4(9)	5(6)	6(4)	7(1) 7(9)

それぞれ（ ）内の数字と誤解されやすい。